

第54回（令和7年度）全国豆類経営改善共励会受賞者紹介

第54回「全国豆類経営改善共励会」が開催され、東北管内では、大豆家族経営の部において山形県河北町の株式会社奥山農園様が農林水産大臣賞を、秋田県横手市の新山武様が農産局長賞を受賞しました。

奥山農園様は、高単収で品質面も優れていること、ほ場ごとに排水対策を行っていること、高温少雨時は畝間灌水を行い乾燥ストレスの軽減に努めていること等が評価されました。

新山様は、高単収に加え、心土破碎による排水対策、トラクター＋自動操舵システムによる播種精度の向上やドローンによる防除等のスマート農業技術の導入等が評価されました。

【全国豆類経営改善共励会とは・・・】

経営規模拡大や生産コスト低減、収量・品質の向上による所得の向上等に取り組み、豆類生産の経営改善の面から先進的で他の範となる経営体・生産集団を表彰しています。令和7年度は、全国から208点（うち東北から19点）の応募がありました。

受賞者の単収・等級比率等		
受賞者	株式会社奥山農園	新山 武
部門	大豆家族経営の部	大豆家族経営の部
褒賞	農林水産大臣賞	農産局長賞
住所	山形県河北町	秋田県横手市
単収	304kg/10a	303kg/10a
県単収	152kg/10a	121kg/10a
県単収比	200%	250%
等 1等	33.1%	—
級 2等	64.3%	—
比 3等	—	70.7%
率 特定加工用等	2.0%	28.9%



奥山農園様の丁寧に管理されたほ場



新山様のハーフソイルによる心土破碎



全国表彰受賞者の皆さん

全国豆類経営改善共励会のHPはこちら： <https://pr.agrinews.co.jp/archives/3149>
事例集はこちら： <https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/daizu/attach/pdf/index-18.pdf>
【問合せ先】：東北農政局 生産部 生産振興課 022-263-1111（内線4087、4426）

GREEN×EXPO 2027の開催まで200日を切りました！！

2027年3月19日から9月26日まで、神奈川県横浜市で、GREEN×EXPO 2027が「幸せを創る明日の風景」をテーマに開催されます。日本で最上位クラス（A1）の国際園芸博覧会の開催は、1990年に大阪市にて開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」以来37年ぶりの開催です。期間中には、1000万株の花や緑が会場を彩るほか、農業や食、環境に関する展示や体験も予定されています。農と食の魅力や、未来の暮らしについて楽しく学べる国際イベントです。是非ご来場ください。

・詳細は公式ホームページをご覧ください。

<https://expo2027yokohama.or.jp/>



早割価格の前売チケット販売中!!（2027年3月18日まで）



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

10月は食品ロス削減月間です

10月は「食品ロス削減月間」、
10月30日は「食品ロス削減の日」
及び「全国一斉商慣習見直しの日」
です。

食品事業者や自治体による消費者啓発の取組事例や、納品期限の緩和等の商慣習の見直し、賞味期限表示の大括り化、フードバンク、子ども食堂等への食品提供に取り組む企業を10月に農林水産省HPで公表します。



食品ロス削減月間に関する情報は、こちらから

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/201014.html

東北地方食品ロス削減・ 食品アクセス確保連絡会の会員募集中

会費無料

東北農政局では、食品ロス削減及びフードバンク活動等の普及啓発を図るため、連絡会を設立しています。本連絡会では、食品関連事業者、フードバンク団体、物流事業者、社会福祉団体、行政機関などの会員を募集しています。



連絡会に関する情報や入会の手続きは、こちらから

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuri/index.html>

『豚熱』に油断禁物！

- 農場への豚熱ウイルスの侵入要因として、野生イノシシの関与が大きいと考えられています。
- 野生イノシシは秋から活動が活発化し、積雪時には雪の少ないところに集まります。
- 防護柵を今のうちに点検し、補修や補強を行いましょう。



積雪による野生イノシシの柵の乗り越えに
注意しましょう。



豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp> 🔍

豚熱



野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp> 🔍

野生イノシシ 豚熱



農村RMO形成推進事業

【農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）】

- ◆対象地域：過疎、特定農山村、振興山村法等の指定地域、農林統計上の中山間地域 ※地域別農業振興計画に位置付けられていること
- ◆事業実施主体：複数集落を含む地域協議会（※集落の単位は、農林業センサスの農業集落）
- ◆交付率：地域連携型：交付率：1/2以内（上限1,500万円（年標準額375万円）、事業期間：上限4年）
活動着手法支援型：交付率：定額（上限200万円）、事業期間：1年）

－“農地・資源・暮らし”をつなげて回すために－（秋田県にかほ市 横岡・舟岡地区）

横岡・舟岡地区では、農事組合法人の立上げや作業省力化の議論が進みました。また、「ゲストハウス麓(ろく)〆(ます)」を拠点とした体験プログラムの磨き上げや、地域住民が繋がる場「シェア畑」を創出しました。今後、それぞれが自立的かつ継続できる仕組みを目指しており、麓のカラコ協議会では、その実現に向けた調整や連携を担って活動しています。

事業実施主体：麓のカラコ協議会（令和5年度～7年度）

将来ビジョンの実現に向けた取組

農用地保全



農作業の負担軽減のためドローン、自動給水栓、防草シート等の効果を検証しました。

地域資源活用



名物の横岡ソバの手打ち体験を通じ、地域の食文化をまるごと味わう体験メニューです。

生活支援



シェア畑は、年齢や立場を超えて農に関わる交流の場となっています。

農山漁村振興交付金（農村型地域運営組織（農村RMO）に関する詳しい情報は、農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/nrmto/index.html>

問合せ先：東北農政局農村振興部農村計画課 電話：022-263-1111（内線4062、4123）



- ◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

- ◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
022-263-1111（内線4402、4076）



@MAFF_TOHOKU

東北農政局 公式 X
アカウントはこちら

@maff_Tohoku

東北農政局公式
Instagram
アカウントはこちら

